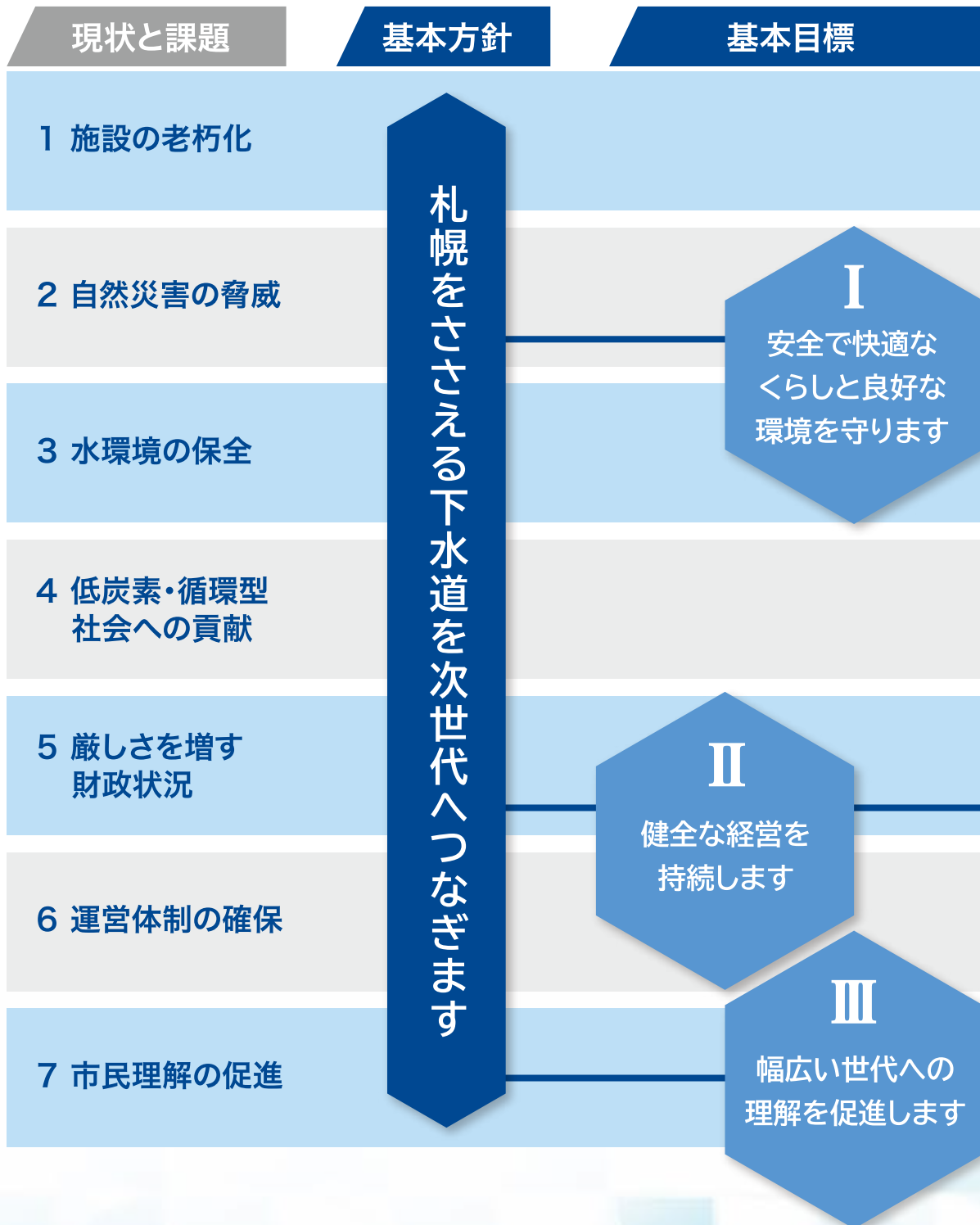


# 第5章 取組の方向性と取組内容

## 1 構成

基本方針に基づいて定めた3つの「基本目標」を達成するため、7つの「取組の方向性」と14の「取組内容」を定めます。



**重点** : 10年間で特に重点的に取り組むもの

取組の方向性

取組内容

1 下水道機能の維持

① 下水道施設の維持管理

② 下水道施設の再構築



2 災害に強い  
下水道の構築

① 雨水対策



② 地震対策



3 公共用水域の  
水質保全

① 処理の高度化の推進

② 合流式下水道の改善

4 下水道エネルギー・  
資源の有効利用

① 下水道エネルギーの有効利用



② 下水道資源の有効利用

5 財務体質の強化

① コストの縮減

② 財源の確保



6 運営体制の強化

① 技術力の維持・向上

② 官民連携の強化



7 下水道の見える化

① 下水道科学館を活用した環境学習

② 効果的な情報発信



## 2 取組の方向性

### 基本目標 I 安全で快適なくらしと良好な環境を守ります

#### I.1 取組の方向性 1 下水道機能の維持



##### 【課題】

下水道施設の機能を将来にわたり維持していくため、改築基本方針に基づいて、適切な維持管理を実施しながら、管路や処理施設の機械・電気設備などの改築を確実に進める必要があります。また、処理施設の土木・建築構造物の再構築を計画的に進める必要があります。(再掲P.14)

##### 【取組の方向性】

下水道施設の計画的な点検や調査、修繕など適切な維持管理を引き続き実施します。  
改築の必要性や時期などを総合的に判断しながら、計画的に下水道施設の再構築を進めます。

#### I.2 取組の方向性 2 災害に強い下水道の構築



##### 【課題】

10年に一度程度の確率で降る雨を排除するため、雨水拡充管の整備を進める必要があります。さらに、整備目標を超える集中豪雨による被害を軽減するため、雨水が集まりやすい窪地などにおける対策や雨水流出抑制の取組及び市民の備えを支援するための情報提供などを実施する必要があります。(再掲P.16)

##### 【取組の方向性】

ハード対策とソフト対策を組み合わせた効率的・効果的な雨水対策を進めます。

##### 【課題】

地震時の下水道機能を確保するため、機能の重要度などを考慮し、管路・処理施設の耐震化を計画的に進める必要があります。また、下水道BCPの見直しや災害対応訓練の実施など、地震による被害の軽減に向けたソフト対策を強化する必要があります。(再掲P.17)

##### 【取組の方向性】

ハード対策とソフト対策を組み合わせた効率的・効果的な地震対策を進めます。

#### I.3 取組の方向性 3 公共用水域の水質保全



##### 【課題】

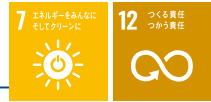
良好な水環境の保全に貢献するため、水再生プラザにおいて処理水質の向上や安定を図り、合流改善対策が完了していない処理区において対策を進める必要があります。(再掲P.19)

##### 【取組の方向性】

水再生プラザにおける下水の処理方法の高度化を進めるとともに、運転管理の工夫を引き続き実施します。  
合流改善対策が完了していない処理区において、効率的・効果的な対策を進めます。

## I.4

## 取組の方向性4 下水道エネルギー・資源の有効利用



## 【課題】

低炭素・循環型社会の構築に貢献するため、省エネルギー設備への改築などによるエネルギー使用量の削減に努めるとともに、下水道エネルギー・資源の有効利用をさらに進める必要があります。(再掲P.21)

## 【取組の方向性】

省エネルギー設備の導入などの取組を引き続き実施するとともに、下水道エネルギーの有効利用をさらに進めます。

汚泥の有効利用を引き続き実施するとともに、新たな有効利用方法について検討します。

## 基本目標 II 健全な経営を持続します

## II.5

## 取組の方向性5 財務体質の強化

## 【課題】

下水道事業の財政状況を健全に維持するため、計画的な維持管理及び改築の実施や、業務の効率化によるコストの縮減と、今後増加が見込まれる事業を実施するために必要な財源の確保に取り組む必要があります。(再掲P.22)

## 【取組の方向性】

下水道施設の計画的な管理や業務効率化の検討を行い、コストの縮減を引き続き実施します。

財源確保の取組を引き続き実施するとともに、更なる取組の検討や適正な受益者負担<sup>※</sup>の具体的な検討など、財源の確保を実施します。

## II.6

## 取組の方向性6 運営体制の強化

## 【課題】

今後増加する事業を確実に実施できる運営体制を確保するため、職員研修や現場での実務を通じた技術の継承などにより組織の技術力を維持するとともに、下水道事業に携わる団体や企業との連携をさらに強める必要があります。(再掲P.25)

## 【取組の方向性】

効果的な人材育成を引き続き実施します。

自治体の下水道事業を支援する公的機関や民間企業との連携をさらに強化するとともに、さっぽろ連携中枢都市圏の自治体との連携を引き続き実施します。

## 基本目標 III 幅広い世代への理解を促進します

## III.7

## 取組の方向性7 下水道の見える化

## 【課題】

下水道に対する市民の関心を高め、役割や重要性に対する理解を促進するため、様々な世代に応じて、下水道科学館の活用を図るとともに、より効果的な情報発信に取り組む必要があります。(再掲P.26)

## 【取組の方向性】

下水道科学館を積極的に活用し、下水道の役割や重要性を楽しみながら学べる取組を引き続き実施します。

下水道に対する関心や、下水道を正しく使う意識、大雨に対する備えの意識が高まる効果的な情報発信を実施します。